

# やさい週間情報(第42号)

平成30年 2月 2日 (金)

全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	3,400~3,200	3,400~3,200	-	1本売り (2L・L) 398~298円	北海道、本県産ともに入荷量はそれほど多くはないものの、秋冬野菜全般の高値推移の影響もあり全体的に荷動きが鈍く、流通在庫も徐々に増えつつある。 カット販売用としてC品から太物へと移行するところも増えてきており少しずつではあるが太物の動きはでてきている。しかし、売価の兼ね合いから2L、L級、C品の荷動きは鈍い状況となっている。 量販店での売場も狭く売価も高いままとなっている為、都内量販店で販促活動を積極的に行い、売場の拡張および荷動きの良化に努める。
		A3L	3,400~3,200	3,400~3,200			
		A2L	3,400~	3,400~3,200			
		A L	3,400~	3,400~3,200			
		A M	3,200~	3,200~			
		B4L	3,200~3,000	3,200~3,000			
		B3L	3,200~3,000	3,200~3,000			
		B2L	3,200~	3,200~3,000			
		B L	3,200~	3,200~3,000			
		B M	3,000~	3,000~			
		C2L	2,800~	2,800~			
C L	2,600~	2,600~					
名古屋	本県産 北海道産	A4L	3,500~	3,500~		1本売り 398~298円	本県産および北海道産中心の販売となっている。 本県産は安定した入荷となっている中、末端の売価も変わっておらず、市況は概ね保合となっている。しかしながら、寒い日が多く末端消費が鈍いことから、荷動きはやや鈍化傾向にある。 今後についても、厳寒期を迎え消費は鈍い状況が続く見込みであるものの、消費宣伝会を実施し消費の喚起と売場の確保を図り、荷動きの良化に努める。
		A3L	3,500~	3,500~			
		A2L	3,500~	3,500~			
		A L	3,500~	3,500~			
		A M	3,200~	3,200~			
		B4L	3,300~	3,300~			
		B3L	3,300~	3,300~			
		B2L	3,300~	3,300~			
		B L	3,300~	3,300~			
		B M	3,000~	3,000~			
		C2L	3,000~	3,000~			
C L	2,800~	2,800~					

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	3,500~3,200 3,500~3,200 3,500~3,200 3,600~3,400 3,300~3,000 3,300~3,000 3,200~3,100 3,200~3,100 3,000~2,800 2,600~2,500	3,500~3,200 3,500~3,200 3,500~3,200 3,600~3,400 3,300~3,000 3,300~3,000 3,200~3,100 3,200~3,100 3,000~2,800 2,600~2,500		カット 78~58円/100g	北海道産および本県産の販売。 引続き、量販店ではカット売りを中心に積極的な売込みがかけられているものの、寒波の影響から末端消費は鈍ってきている。また、安価な転送品の出回りが増えており、それに伴って流通在庫も増えたため、直荷の荷動きは鈍くなっている。 来週は連休前となるが、気温の低い日が続く予報であることと、流通在庫の多さから、価格は弱気配で推移する見込み。
九州	本県産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L	3,500~3,400 3,500~3,400 3,400~3,300 3,300~3,200 3,300~3,200 3,300~3,200 3,300~3,200 3,100~3,000 3,000~2,800	3,500~3,400 3,500~3,400 3,400~3,300 3,300~3,200 3,300~3,200 3,300~3,200 3,300~3,200 3,100~3,000 3,000~2,800		カット 100g 78~58円	ながいもの流通量に大きな増減はないが、九州管内も寒波の影響により気温の低い日が続いており、青果物全般に売価高の品目が多い中、ながいもの荷動きも鈍くなっている。 今月中旬から価格を下げたことによって、徐々に売価の下げにもつながってきているが、売場面積は現状のままとなっている。 今後は、管内全体で消費宣伝も実施され、特売および売場の拡張を図り、消費の喚起につなげていく。
東北	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	3,500~3,400 3,500~3,400 3,500~3,400 3,600~3,500 3,200~3,000 3,200~3,000 3,300~3,200 3,300~ 3,000~2,800 2,500~	3,500~3,400 3,500~3,400 3,500~ 3,600~3,500 3,200~3,000 3,200~3,000 3,300~3,200 3,300~ 3,000~2,800 2,500~	なし	1本売り 398~350円  カット 100g 84~78円	本県産中心の販売。 引続き本県産の入荷量は変わっていない中、量販店の売価も変わらず、特売等の大きな動きも少ないことから市況は、保合推移。 来週についても、入荷量は極端な増量とはならず市況は保合で推移する見通し。

品名 にんにく No.1

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L A M	2,300~2,200 1,800~1,700 1,600~1,500	2,300~2,200 1,800~1,700 1,600~1,500	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 スペイン産 1 P 158~98 円	徐々に入荷量は増えてきているが、全体的には余剰感はなく相場は弱保合での推移となっている。LM級については価格がこなれてきたことからこれまでより荷動きは良くなっている。一方で、2L級については若干、荷動きは鈍化しつつある。 これまで増えきらず推移してきたことから保合で推移してきたが、来週以降も極端な増加が見込めないことから、保合での販売となる見込み。今後も産地状況の情報共有を図り、状況にあわせた価格設定を行いながら荷動きの良化に努める。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,200~ 1,800~ 1,600~ 2,000~ 1,700~ 1,500~	2,200~ 1,800~ 1,600~ 2,000~ 1,700~ 1,500~		L 1 P 298~198 円	本県産中心の販売となっている。 末端消費が鈍く、流通在庫を抱えながらの販売となっており、特に入荷の多いL級の荷動きが鈍化している。 来週についても、入荷量は大きく変わらない見込みとなっており、仲卸で在庫を抱えながらの販売が続くことから弱含みでの販売が見込まれる。
大阪	本県産	A 2 L A L A M	2,300~2,100 2,000~1,700 1,800~1,500	2,300~2,100 2,000~1,700 1,800~1,500		L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 今週は管内への入荷量が大きく変わっていないものの、他品目の高値の影響からにんにくについても荷動きが鈍い。それに伴って流通在庫が増えてきていることから、品薄感は解消され、加えて月末も絡み、全体的に弱含みでの販売となった。 来週については、入荷量が幾分減少する見通しとなっているが、販売環境に大きな変化は見られず、弱含みでの販売となる見込み。
九州	本県産	A 2 L A L A M	2,200~2,000 2,000~1,800 1,700~1,500	2,200~2,000 2,000~1,800 1,700~1,500			管内の入荷量の週間ベースに大きな増減はないが、高値基調が続いていることに加え、安価な転送案内も多くなっており、価格は若干下げ基調で推移している。 今後は、柔軟な価格帯によって流通在庫を増やさないことに努め、また、ながいもと同時に消費宣伝を実施し、消費の喚起を図る。

品名 にんにく No.2

東北	本県産	A 2 L A L A M	2,300~2,200 2,000~1,800 1,600~	2,300~2,200 2,000~1,800 1,600~1,500	なし	L 1 P 198円	先週同様に安定した入荷量となっており、荷動きは小玉を中心にやや鈍いものの価格は保合いで推移した。県内市場へは、個選の持ち込みも増量しており、発根等の発生も多いことから、荷動きは緩慢。依然として、M級に関しては発生率が高く、市場・仲卸在庫が残っている状況。 来週については、本県産の出荷量が増加となることから、全体的に市況は弱含み推移の見込み。
----	-----	---------------------	--------------------------------------	---	----	---------------	--

品名 ごぼう No.1

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 茨城県産	本県産 (10K) A 2 L A L A M  (4K) A 2 L A L A M	1,500~1,400 1,800~ 2,000~  500~ 800~ 900~	1,500~1,400 1,800~ 2,000~  500~ 800~ 900~		L 1 本 128~198円	本県産中心に茨城県産の販売となっている。 全体的に入荷が少ない状況が続いているが、野菜全般に消費低迷が続いており、ごぼうについても荷動きは鈍い状況が続いている。3L、2L級についてはこれまで同様、加工業務関係からの引合いが弱い。一方でL・M級については九州産の新ごぼうが天候の影響を受け入荷が少なく量販店等からの引合いはあり、相場は3L、2L級は弱め、L、M級は強保合での推移となっている。 今後も引続き入荷の不安定な状況は続く見込みで、L・Mを中心に強めの相場展開が予想される。
名古屋	本県産 九州産	A M A 2 M A S A 2 S	2,300~2,200 2,600~2,500 1,800~1,600 1,300~1,100	2,300~2,200 2,600~2,500 1,800~1,600 1,300~1,100		2 M 2 本入 198~158円	本県産・九州産（新ごぼう）中心の販売となっている。 管内の売場の中心となる2M以下の入荷が少なく、不足感から引合いが強まっており、細物については強含みでの推移となった。太物については概ね保合での販売となっている。 来週についても、入荷は大きく変わらない見込みから、今週同様細物については強含みでの販売が見込まれる。

品名 ご ぼ う No. 2

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 関東産 九州産	A 3 L A 2 L A L A M A 2 M A S A 2 S	1,200~1,000 1,500~1,300 2,200~2,000 2,500~2,300 2,600~2,500 1,800~ 1,500~1,300	1,200~1,000 1,500~1,300 2,200~2,000 2,500~2,300 2,600~2,500 1,800~ 1,500~1,300		2 M ハーフ 158~138 円 / P  S 2 P 198 円 / P	<p>本県産・関東産と九州産（新ごぼう）の販売。 九州産の新ごぼうの入荷は潤沢であるが、本県産・関東産の入荷は少ないため、引合いは強い状況となっている。また、総体量の少なさから、量販店では大規模な売込みがかけられておらず、売価も高いままではあるが、比較的安定した販売となっている 来週についても、引続き、量販店向けのM・2Mを中心に引合いは強いと想定され、全体的には保合推移となる見込み。</p>
九州	本県産	A 2 L A L A M	1,500~1,300 2,200~2,000 2,500~2,300	1,500~1,300 2,200~2,000 2,500~2,300		2 P 198 円 ~ 158 円	<p>寒波の影響により鹿児島県離島物の入荷も増えず、ごぼうの流通量は多くはないが、やさい全般の売価高の影響により、量販店からの発注は少ない。 一方、業務・加工関係は、太物および細物の別注も定期的であり、本県産指定での納品となっている。 量販店では、売価高の品目が多い傾向が続く見込みの中、ごぼうの売場は確保されていることから、現状の入荷量であれば、保合での価格帯で推移する見込み。</p>
東北	本県産	4 k g A 3 L A 2 L A L A M	400~ 600~500 700~ 1,000~900	400~ 600~500 700~ 900~800			<p>本県産中心に一部九州産の洗いごぼうの販売。 引続き、本県産の入荷量は変わらず、少ない状況が続いている。入荷量が少ない中ではあるが、末端の荷動きは、やや鈍めで推移していることから、市況は保合推移となっている。 来週についても、入荷量の増加は無いことから、市況は保合推移の見込み。</p>